Cisco UC Integration for Microsoft Lync Release 9.2(1) アクセシビリティ ガイド

初版：2013 年 05 月 28 日

シスコシステムズ合同会社
〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー
http://www.cisco.com/jp
お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター
0120-092-255 （フリーコール、携帯・PHS含む）
電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00
http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/

【注意】シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（**www.cisco.com/jp/go/safety_warning/**）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。 このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。 このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。 添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。 シスコおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

このマニュアルで使用している IP アドレスは、実際のアドレスを示すものではありません。 マニュアル内の例、コマンド出力、および図は、説明のみを目的として使用されています。 説明の中に実際のアドレスが使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: http://www.cisco.com/go/trademarks. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1110R)

© 2013 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

目 次

アクセシビリティ機能 1

キーボード ナビゲーション 1

キーボードのショートカット 2

フォントのスムージング 3

アクセシビリティ情報に関する連絡先 5

第 1 章

アクセシビリティ機能

ここでは、使用可能なアクセシビリティ機能に関する情報について説明します。

- キーボード ナビゲーション，1 ページ
- キーボードのショートカット，2 ページ
- フォントのスムージング，3 ページ

キーボード ナビゲーション

次の画面では、Tab キーと矢印キーを押して項目を切り替えます。

- ハブ ウィンドウ
- オプション ウィンドウ
- ドック ウィンドウ

Enter を押して、ウィンドウの項目を選択します。

ハブ ウィンドウで Microsoft Windows メニューを切り替えるには、以下の手順を実行します。

1. F10 を押して、[ファイル（File）] メニューを選択します。
2. Alt を押して、メニューを切り替えます。
3. 矢印キーを使用して、メニュー項目を切り替えます。
4. Enter を押して、メニュー項目を選択します。

キーボードのショートカット

グローバルなショートカット

操作	キーボードのショートカット
ドック ウィンドウへのアクセス **ヒント** ドック ウィンドウの表示方法： **1** ハブ ウィンドウを開きます。 **2** [表示（View）]>[ドック ウィンドウを表示（Show docked window）]を選択します。	Ctrl + Shift + ?

着信コール

操作	キーボードのショートカット
コールに応答する	Ctrl + L
コールを拒否する	Ctrl + D
チャットでコールに応答する	Ctrl + R

アクティブ コール

操作	キーボードのショートカット
コールを終了する	Ctrl + K
全画面表示モードのオンとオフを切り替える	Ctrl + Shift + F
セルフビュー ビデオを表示または非表示にする	Ctrl + Shift + B
オーディオをミュートまたはミュート解除する	Ctrl + ↓
ビデオを開始または停止する	Ctrl + Shift + V
コール ウィンドウをドッキングまたはドッキング解除する	Ctrl + Alt + P
コールを保留または再開する	Ctrl + Shift + H
キーパッドを開くまたは閉じる	Ctrl + Shift + K **ヒント** キーボードでキーパッドの数字を入力します。

フォントのスムージング

アプリケーションをインストールおよび設定する管理者は、フォントのスムージングをどのように実行するかを制御できます。

ForceFontSmoothing パラメータは、クライアントまたはオペレーティング システムがテキストにアンチエイリアシングを適用するかどうかを指定します。 デフォルトでは、クライアントがスムーズ テキストにアンチエイリアシングを適用します。

オペレーティング システムがテキストにアンチエイリアシングを適用するようにする場合は、クライアント設定で次のようにパラメータを設定します。

```
<Policies>
  <ForceFontSmoothing>false</ForceFontSmoothing>
</Policies>
```

詳細については、『*Administration Guide*』を参照してください。

第 2 章

アクセシビリティ情報に関する連絡先

United States Government Section 508 Voluntary Product Accessibility Template（VPAT）を要求する、またはアクセシビリティに関するその他の情報を入手するには、accessibility@cisco.com にお問い合わせください。